

汚泥再生処理センター
発注仕様書作成等業務委託

劣化調査報告書

令和6年3月

株式会社日産技術コンサルタント

第1事業所

第1事業所
①投入前処理棟
②浄化槽汚泥前処理施設



【調査結果】投入前処理棟

外壁全体にヘアークラックは若干見受けれるが、これは経年劣化による塗装の剥離などもあり構造体への影響はないものと判断する。0.2mm～0.5mm程度のクラックは、各面発生しているが、そこから内部への漏水がないことから、構造躯体を貫通しているひび割れではないため問題ない。内部も0.2mm～0.5mm程度のクラックであり外部同様と判断する。コンクリートの大きな爆裂もないことから、劣化係数については、竣工時から劣化が進行していると判断し、「0.9」とする。

〈投入前処理棟→0.9〉

表 7.2.1 調査後の劣化係数

	チェック項目	判定基準	標準値
経年係数 (T)	変形	下記のいずれにも該当しない。	1.0
		サッシの窓又は扉が開き難い。	0.95
		肉眼で、梁及び柱の変形が認められる。	0.9
		建築物が傾斜しているか、又は明らかに不同沈下している。	0.9
	壁、柱の亀裂	下記のいずれにも該当しない。	1.0
肉眼で柱の斜め亀裂がはっきり見える。		0.9	
外壁に数えられないほどの亀裂が入っている。		0.9	
雨もりがあるが、錆が生じていない。		0.9	
		雨もりがあり、鉄筋の錆が出ている。	0.8
変質、剥落	下記のいずれにも該当しない。	1.0	
	外部の老朽化による剥落が著しい。	0.9	
	内部の変質、剥落が著しい。	0.8	
その他特殊事情による劣化 (注1)	特になし。	1.0	
	若干の低減の必要がある。	0.9	
	低減の必要がる。	0.8	
品質係数 (Q)	施工品質	普通	1.0
		やや不良の箇所がある。 かなり不良の箇所がある。	0.9 要判定
	材料品質	問題なし。 問題あり。	1.0 要判定

(注1)「特殊事情」とは、海浜又は多雨地域等の周辺環境や火災経験、化学薬品使用等の条件をいう。

【調査結果】浄化槽汚泥前処理施設

投入前処理棟同様一部にヘアークラックは若干見受けれるが、構造体への影響はないものと判断する。内部への漏水はなく構造躯体を貫通しているひび割れではないため問題ない。コンクリートの大きな爆裂もないことから、劣化係数については、竣工時から劣化が進行していると判断し、「0.9」とする。

〈浄化槽汚泥前処理施設→0.9〉

表 7.2.1 調査後の劣化係数

	チェック項目	判定基準	標準値
経 年 係 数 (T	変 形	下記のいずれにも該当しない。	1.0
		サッシの窓又は扉が開き難い。	0.95
		肉眼で、梁及び柱の変形が認められる。	0.9
		建築物が傾斜しているか、又は明らかに不同沈下している。	0.9
	壁、柱の亀裂	下記のいずれにも該当しない。	1.0
肉眼で柱の斜め亀裂がはっきり見える。		0.9	
外壁に数えられないほどの亀裂が入っている。		0.9	
雨もりがあるが、錆が生じていない。		0.9	
変質、剥落	雨もりがあり、鉄筋の錆が出ている。	0.8	
	下記のいずれにも該当しない。	1.0	
	外部の老朽化による剥落が著しい。	0.9	
	内部の変質、剥落が著しい。	0.8	
その他特殊事情による劣化 (注1)	特になし。	1.0	
	若干の低減の必要がある。 低減の必要がる。	0.9 0.8	
品質 (Q	施工品質	普通	1.0
		やや不良の箇所がある。 かなり不良の箇所がある。	0.9 要判定
	材料品質	問題なし。 問題あり。	1.0 要判定

(注1)「特殊事情」とは、海浜又は多雨地域等の周辺環境や火災経験、化学薬品使用等の条件をいう。



浄化槽汚泥前処理施設
北面
コンクリート打ち放し吹付仕上げ



浄化槽汚泥前処理施設
西面
コンクリート打ち放し吹付仕上げ



浄化槽汚泥前処理施設
南面
コンクリート打ち放し吹付仕上げ



投入前処理棟
劣化調査
西面
クラック
幅:0.2~0.6mm
L=0.5~2.5mm
躯体問題なし
浮きなし



投入前処理棟
劣化調査
西面
クラック
幅:0.2~0.6mm
L=0.5~2.5mm
躯体問題なし
浮きなし



投入前処理棟
劣化調査
西面
クラック
幅:0.2~0.6mm
L=0.5~2.5mm
躯体問題なし
浮きなし

